

前橋市立図書館だより 第370号



市民の心のより所 前橋駅前風景

▶ 前橋市立図書館所蔵の絵画が市民活動によって修復されました

前橋の画家
茂木絃一さん

INTERVIEW



前橋市立図書館

司書 柴崎 純子

『新幹線のたび
- はやぶさ・のぞみ・さくらで日本縦断 -』

コマヤスカン作 講談社

春休み、はるかとお父さんが青森から3つの新幹線を乗り継いで、鹿児島のおじいちゃんの家まで行くたびの絵本です。日本列島を見下ろすように、立体的に山や海岸線、町並みや名所旧跡などが丁寧に描き込まれています。雪が舞う早朝の青森から桜が満開の暮れなずむ鹿児島まで1日で季節が移ろい、通過駅と共に変化する車内の様子も描かれ、見ているだけで楽しく、旅をしているような気分になります。今年、東日本大震災から10年になります。この絵本は震災直後の2011年3月20日に発行され、震災前の東北の風景が描かれています。東北の一層の復興と新型コロナが終息し旅行が楽しめることを願い、子どもにも大人にもおすすめしたい1冊です。



司書おすすめの1冊

図書館の休館日 祝日の場合は開館し翌日に休館

前橋市立図書館本館、上川淵・下川淵・桂萱・総社元総社・南橋・大胡・富士見・総合教育プラザ分館	月曜
城南・芳賀・東・清里・宮城・柏川分館	木曜
前橋こども図書館	第4水曜



新型コロナウイルス感染拡大予防ガイドライン
対策や利用制限などはウェブサイトをご覧ください



図書館よりもやま話
新型コロナウイルス感染拡大防止対策により、利用制限があり、皆さまにはご不便をおかけしております。さて、日によっては春のような暖かい日も増え、花の便りを聞くようになりました。図書館の南側の桜も春に向けて新たな芽が膨らみ始めています。2月号に掲載しました雑誌スポンサーを広く募集しています。企業・団体・個人など、1年間分の雑誌を購入いただくと、最新刊のカバーと雑誌棚に広告を掲載できます。詳しくは図書館ホームページか職員までお問い合わせください。3月は卒業シーズンです。苦楽を共にした仲間と別れることは辛いですが、その先には新しい未来が待っています。(船津)

前橋市立図書館
JP-1000546

図書館だより 第370号 令和3年3月発行
〒371-0026 前橋市大手町二丁目12-9
TEL 027-224-4311 FAX 027-243-1877

新刊案内

古代メソポタミア飯

ギルガメシュ叙事詩と
最古のレシピ

遠藤雅司 著 大和書房



4000年前の粘土板に刻まれし

「最古の料理」と「最古の文学」を読みとき、現代に蘇らせた再現レシピ28品と謎とき歴史エッセイ



おじさんは、地味な資格で稼いでく。

NEW

佐藤 敦規 著

クロスメディア・パブリッシング

知名度が低くても、法人に必要とされる地味な資格で人生を挽回する方法を伝授する

面白いほどパフォーマンスが上がる
新しい体幹の教科書

林英祐・柴雅仁 著 池田書店



体幹を鍛えても、使えなければ意味がない。ポイントは横隔膜、骨盤底筋群、そして呼吸。体幹を最大限に使う方法を解説

卒業式がオンライン配信となり参加者を限定するなど、子どもたちは人生の大きな節目を大変な状況で迎えています。それでも、時間は容赦なく過ぎていきます。この試練を乗り越えた先には、きっと、間違いなく、素晴らしい時間が戻ってくると確信しています。図書館も読み聞かせ配信など、できることを進めています。ともに前を
vol.21
図書館長
向いて進みましょう。伊井直文の
つぶやき



前橋市立図書館
公式チャンネル
YouTube

蔵書検索
調査相談
利用案内





群馬にゆかりが深い 渋沢栄一の業績を紹介

ライトノベルの
書棚を設置しました

市立図書館本館では、2024 年度に刷新される新 1 万円紙幣の図柄に肖像が使われることで話題となっている渋沢栄一の関連書籍を集めた特設コーナーを設置しています。近代日本経済の父と呼ばれる渋沢は、富岡製糸場設立の中心的役割を果たすなど、群馬県とも深い関わりがあります。また、本館中二階には、漫画のノベライズ作品など若年層向けの小説が並ぶライトノベルコーナーを新たに設置しました。



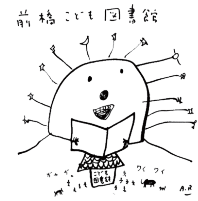
今月の おすすめ映画

当館所蔵DVD

大友克洋監督
1988 年 日本

もう始まっている。もう止まらない
世界を震撼させた超感覚アニメーション・ムービー

2019 年、第三次世界大戦から復興したネオ東京。最高機密・アキラをめぐる、アーミーとゲリラが激しい戦いを繰り広げていた。健康優良不良少年・金田とその仲間・鉄雄は、その戦いに巻き込まれていく



前橋こども図書館



絵本読み聞かせイベント
など詳しくは同館ウェブ
サイトをご覧ください。

☎ 027-230-8833

● 絵本の読み聞かせ映像配信中です

図書館公式 YouTube チャンネルでは、絵本読み聞かせ映像を配信中です。今回はフリーアナウンサーの蛭間まゆみさん朗読の『どろぼうがないた』と読書アドバイザーの野村陽子さん朗読の『みてみておかあさん』を公開。下記または図書館ホームページからご覧ください。

▶ 『どろぼうがないた』朗読：蛭間まゆみ



公開期限：
4 月 28 日まで

▶ 『みてみて おかあさん』朗読：野村陽子



公開期限：
4 月 28 日まで

● 3月25日から〇〇袋をスタート

新しい本との出会いを演出する本の福袋〇〇袋の貸し出しを3月25日（木）から開始します。



画家 茂木 紘一さん

INTERVIEW

市民活動で蘇る絵画の中の木造前橋駅舎

ケヤキ並木の片側を中央に置いた独特の構図、線描で描かれた黒い線。当時、市民の心の拠り所であった旧駅舎をモチーフに描かれた『前橋駅前風景』は、現在の市立図書館の開館直後（昭和49年）に画家本人から寄贈されたものです。市民活動により、現在修復作業が進展。3月24日に作業を終え、図書館に戻ります。「今は多彩な色使いで描くから、気持ちをぐっと抑えて作業したよ。当時の未熟さが残るけど、それも生きてきた証の一つ」と茂木紘一さんは自ら行った修復作業の難しさを語ります。昭和48年に日展に初入選。プロの画家になるきっかけとなった作品も前橋駅を描いた絵でした。「それまで故郷の絵として描いていたのは、茶や黒の絵ばかり。華やかな絵を描きたいとスピード感のあるモチーフに選んだのが人の集まる前橋駅でした。」戦後に植えられたケヤキ並木。赤城山に向い建つ木造駅舎は、絵の題材としてユニークに感じられた。県立前橋高校で学び、駅前にあった前橋文化映画劇場

に足しげく通った茂木さんにとって駅前風景は馴染み深いモチーフ。約10年に渡り描き続けました。

茂木さんは市立図書館の近くにあった長屋で育ちました。「小さい頃は晴れたら利根川、雨が降ったら図書館。遊び場だったね。図鑑を見て夢中になったのがスペイン・トレドの街。海外の旅は夢の時代だったから。」プロの画家になり、憧れの地トレドへ訪問。出発は前橋駅からでした。市民の心のより所であった前橋駅舎の絵。同じく心のより所であるべき図書館の中央に、これからは常設されます。

美しい郷土を描く
「人の暮らしと自然との心地よい共生」をテーマに色鮮やかに郷土の自然を描いている（右下）「商工まえばし」表紙絵原画集（2001）



市内で美術品のギャラリーを営む内山光明さん。茂木紘一さんとは長い付き合い

市民活動に支えられた 絵画修復プロジェクト

前橋市立図書館に常設展示される茂木紘一作『前橋駅前風景』（昭和49年）は、市民活動によって資金が集められ、修復作業と額装が進みました。活動の中心となった中島資浩さん、内山光明さんらは、仮額のまま展示され、一部に色の褪せがみられた絵画を蘇らせようと修復のための寄付を集めました。同作はF150号（227.3cm×181.8cm）の大型の作品。修復作業や運搬も大がかりになりました。昨年12月から寄付金を元に修復が始まり、3月に再び市民に公開されます。問い合わせ〓事務局（江田不動産内）☎027-251-2372（担当：中島さん）